

# ＝ 普 及 情 報 ＝

No. 2

令和7年5月28日

農業技術センター技術普及部

標 題	機能強化研修「果樹産地づくり」を開催
-----	--------------------

(ダイジェスト)

第2期島根県農林水産基本計画が4月からスタートした。10ある重点推進事項のうち、地域主導による産地の拡大に関連し、各農業（振興）部の普及計画では、果樹関係で8つの普及課題の設定が予定され、この中で産地ビジョンの策定や改訂することとしている。

そこで、果樹担当普及員の産地ビジョン策定のスキルアップを目的に、5月14日農業技術センターにおいて、機能強化研修を開催した。研修では、出雲で取り組まれている産地ビジョンの事例報告や、少人数でのグループワークを通じて、産地ビジョン策定方法等に必要な知識の理解を深めた。

重点推進事項「地域主導による産地の拡大」において、今年度の各農業（振興）部の普及計画では、ぶどう7産地、柿1産地が普及課題として産地支援に取り組む予定です。産地支援の内容は、技術的対応だけでなく産地の目標や具体的活動内容を盛り込んだ地域主導の産地ビジョンの策定・改訂支援が大きな柱です。

一方、近年、果樹担当普及員は若手普及員が多く、産地づくりの経験が浅い普及員も多いことから、今回は産地ビジョン策定支援手法について研修を実施しました。

当日は、出雲農業部内田課長から出雲ぶどうの産地ビジョンの概要とビジョン作成方法、生産者や関係機関との関わり方等の事例報告を行いました。その後、具体的な産地の現状やビジョンの作成方法・イメージを細かく検討するため、3グループに分かれ、初めて産地ビジョン作成に関わる担当者と経験者との間で産地の現状を共有し、お互いに相談やアドバイス、提案を行いました。

参加者からは、「産地づくりではまずは人間関係の構築が重要」や「関係者との目標を共有することが重要」、「どのような視点、考え方でビジョンを作成するのか理解できた」等の意見があり、産地ビジョンの策定・改訂に必要な知識の理解が進みました。

今後も、各農業部の産地ビジョン作成を支援していくこととします。

